

第5回 河川環境展 レポート

2002年11月26～29日に千葉県幕張メッセにおいて開催された「第5回河川環境展」に行ってきました。
河川環境展は河川を取り巻く状況を

多方面からアプローチする企業がそれぞれの得意な分野について発表・展示を行っている展示会です。展示内容のテーマは次の5つでした。

河川環境展 展示テーマ

新しい技術で美しい山河を守る	災害復旧（防災）技術
新しい技術で生態系を守る	河川環境保全技術
新しい技術で清流を守る	水環境保全技術
I Tによる効率的な河川環境管理・観測	河川・流域管理技術
	基礎観測技術
川づくりにおける河川流域の連携 / 環境教育	住民参加と環境教育

このようなテーマにより、出展されているブースを分類してみると、以下のように分けることができました。

生態系

多自然型護岸

河川の氾濫をおさえ、さらに、流域の生物相への影響を極力抑えた構造として魚などが逃げ込めるような多孔質構造を備えたブロックや、ホタルなどが上陸する事が出来るブロックなどに興味を持ちました。

ビオトープ

学校ビオトープの優秀事例の模型や、メダカや水生植物を材料にしたビオトープユニットのようなものが印象に残りました。

私自身はビオトープ（庭園的なビオトープ）も都市においては重要なものと感じており、都市における生態的ポテンシャルを向上する一役を担って欲しいと考えています。

防 災

護岸

自然石に見えるコンクリート・樹脂ブロックや、コケなどが生育しやすい構造をしたものなど、景観に配慮したアイテムが興味を引きました。これらが、防災上護岸工事が必要な河川で使用されることにより、景観的にも、また生態系に対しても配慮がなされた河川環境が整備されていくと良いと思いました。

水質浄化

パネルによる水質浄化の事例紹介などがありました。また、生物による浄化作用について、まだまだ研究の余地があるように感じました。

計測機器・情報通信システム

GIS

河川GISなどの紹介がありましたが、内容的には新技術として躍進したものは無かったように思います。

水質測定

水質に関する様々なデータを同時に計測できる機器など、大変興味深かったです。

テレメトリ

陸上動物、魚類などのラジオテレメトリを利用した事例などが紹介されていました。

自動撮影・監視システム

衛星電話の回線を利用した野生動物の自動撮影装置と画像転送装置など、コストさえ気にしなければ使ってみたい器具が紹介されていました。

今年の河川環境展を観て、一番興味深かったことは、生態系に配慮したアイテムや保全の事例などの紹介が多かったことです。人間が住みやすい環境には生き物が住みやすいという、ヒトと生き物が共生できる環境づくりがより盛んになるとよいと思いました。
(東京本社業務推進室・伊藤 透)